

平成28年度環境省補助事業

平成28年度
二酸化炭素排出抑制対策事業
地域における地球温暖化防止活動促進事業

報 告 書

平成29年3月

一般財団法人 三重県環境保全事業団
(三重県地球温暖化防止活動推進センター)

目 次

I	業務の目的	1
II	業務の内容	1
1	三重県地球温暖化防止活動連絡調整会議の設置及び会議の開催状況	1
(1)	三重県地球温暖化防止活動連絡調整会議の設置	1
(2)	会議の開催状況	2
2	みえ環境フェア2016の開催	8
(1)	フェアの概要	8
(2)	フェアの事前周知及び開催結果の報道	11
(3)	フェア開催により排出されるCO ₂ のオフセット	14
(4)	開催結果	15
(5)	COOL CHOICE の賛同	19
(6)	アンケートの実施	19
(7)	シャトルバスの運行	21
3	推進員研修会の開催	22
(1)	第1回推進員研修会	22
(2)	第2回推進員研修会（中部ブロック合同推進員研修会）	24
4	日常生活に関する温室効果ガス排出抑制のための照会・相談・助言業務	26
(1)	照会・相談・助言業務	26
(2)	各種イベント時の簡易省エネ相談業務	26
5	COOL CHOICE の賛同	27
6	アンケートの実施	27
(1)	家庭の省エネアンケートの結果	27
(2)	子供を対象としたアンケートの結果	27
(3)	エコライフアンケートの結果	27
	【資料】	
	資料1（家庭の省エネアンケート）	29
	資料2（スタンプラリーアンケート）	30
	資料3（エコライフアンケート）	31
	資料4（子供用アンケート）	33

I 業務の目的

我が国の社会経済活動、とりわけ近年温室効果ガス排出量が 1990 年比で約 50%増加している民生部門の排出の抑制等を促進するための措置を講じ、地球温暖化の防止に寄与する活動の促進を図ることを目的とし、地球温暖化対策の推進に関する法律（平成 10 年法律第 117 号、以下「温対法」という。）第 24 条及び第 25 条に基づき、都道府県知事等や環境大臣が地域地球温暖化防止活動推進センター（以下「地域センター」という。）及び全国地球温暖化防止活動推進センター（以下「全国センター」という。）を指定している。

本事業は、エネルギー起源二酸化炭素排出抑制のための温対法による地域センター事業に要する経費を補助する事業（以下、「補助事業」という。）により、三重県内における地球温暖化防止推進活動基盤を形成し、地球環境の保全に資することを目的として実施した。

II 業務の内容

1 三重県地球温暖化防止活動連絡調整会議の設置及び会議の開催状況

（1）三重県地球温暖化防止活動連絡調整会議の設置

「平成 28 年度地域における地球温暖化防止活動促進事業」の実施に当たり、地域の関係主体との効果的な連携、連絡調整等を通じて、事業を円滑に実施することを目的に三重県地球温暖化防止活動連絡調整会議（以下「会議」という）を設置した。

会議の構成員は表－1 のとおりである。

表－1 三重県地球温暖化防止活動連絡調整会議構成員

所 属 等	
推 進 員	三重県地球温暖化防止活動推進員
	三重県地球温暖化防止活動推進員
	三重県地球温暖化防止活動推進員
地 域 協 議 会 等	地球温暖化防止活動中勢協議会
	三重大学環境 I S O 学生委員会副委員長
	(一社)日本自動車連盟三重支部事業課長
	シャープ株式会社三重工場係長
	中部電力株式会社三重支店総務部地域・広報グループスタッフ副長
行 政 機 関	環境省中部地方環境事務所環境対策課長
	三重県環境生活部地球温暖化対策課長
	四日市市環境部環境保全課長
	鈴鹿市環境部環境政策課副参事兼環境政策グループリーダー
	亀山市環境産業部環境保全室長
	津市環境部環境政策課環境共生担当主幹
	松阪市環境生活部環境・エネルギー政策推進課環境エネルギー政策室
事務局	伊勢市環境生活部環境課長
	三重県地球温暖化防止活動推進センター事務局長

(2) 会議の開催状況

① 会議の開催状況は表－２のとおりである。

なお、平成 28 年 11 月については、日程調整ができなかったため、会議構成員に事業の進捗状況を送付し、構成員から意見をいただくことで会議の開催に代えた。

表－２ 会議の開催状況

開催年月日	出席者	会議の概要
平成 28 年 8 月 25 日	10 名 (代理出席含む)	「平成 28 年度地域における地球温暖化防止活動促進事業」計画について説明を行い、了承された。 (資料 1)「平成 28 年度地域における地球温暖化防止活動促進事業実施計画」の概要(案)
平成 28 年 11 月	構成員に送付	日程調整ができなかったため、会議構成員に資料 2 (平成 28 年度「地域における地球温暖化防止活動促進事業実施計画」の進捗状況について)等を送付し、ご意見をいただくことで会議の開催に代えた。
平成 29 年 2 月 6 日	12 名 (代理出席含む)	「平成 28 年度二酸化炭素排出抑制対策事業 地域における地球温暖化防止活動促進事業(三重県)」報告書(暫定)を説明し、了承された。

② 第1回連絡調整会議の概要

第1回三重県地球温暖化防止活動連絡調整会議の概要

「地域における地球温暖化防止活動促進事業」についての事務局説明

平成28年度「地域における地球温暖化防止活動促進事業」を受託し、今年度も国、県、市、推進員、地域協議会等で構成する「連絡調整会議」を設置して、連絡調整・協議等を行うこととしている。

1 三重県地球温暖化防止活動推進センターの活動状況

①平成27年度事業実績

補助事業のコンソーシアム事業、基盤形成事業について計画どおり実施した。また、三重県の委託事業、温暖化防止活動推進センター自主事業についても計画どおり実施した。

②平成28年度事業計画

基盤形成事業として「みえ環境フェア2016」を開催し、温暖化防止活動を推進する。

三重県の委託事業として、推進員が行う出前講座やイベント出展等の啓発活動を支援するとともに、県、市町等と連携し、学校や公民館等における出前講座の充実など推進員活動等の活性化を図る。

温暖化センターの自主事業として、推進員活性化事業、啓発事業に取り組む。また、センターのホームページを活用し県民等に温暖化防止対策の最新情報などを提供する。

なお、27年度に実施していたコンソーシアム事業は、補助事業が廃止された。

2 地域における地球温暖化防止活動促進事業

①平成28年度事業計画について

「地域における地球温暖化防止活動促進事業の実施計画書」に基づき地域における日常生活に関する温暖化効果ガスの排出の実態に関する調査の実施、情報収集・提供・普及啓発、みえ環境フェア2016の開催等を実施する。事業の実施により、地域の関係主体との効果的な連携、連絡調整等を図り、地球温暖化防止活動の基盤の形成を促進し、低炭素社会の構築を目指すとともに地球環境の保全に資することを目的とする。

②みえ環境フェア2016について

推進員や他の環境団体、県内市町、県内企業・団体との交流を図るとともに、来場者に対して地球温暖化の現状について啓発を行う場として「みえ環境フェア2016」を開催する。

県内の約160団体に出席募集案内を送付して、出展者を募る。

3 その他

イベントや出前講座においてアンケート（全国統一アンケート、エコライフチェック等）を実施し、CO2排出実態の把握・分析を行う。



写真 第1回連絡調整会議の状況①（平成28年8月25日）



写真 第1回連絡調整会議の状況②（平成28年8月25日）

③ 第2回連絡調整会議送付資料

平成 28 年 11 月 25 日

平成 28 年度「地域における地球温暖化防止活動促進事業実施計画」の進捗状況について

1 みえ環境フェアの進捗状況

① 出展申込数

出展申込数は、表-1 のとおり、昨年度を上回る 76 団体となった。

詳細は、別添「みえ環境フェア 2016 チラシ」のとおりである。

出展者数の比較

平成 28 年 10 月末

所属等	平成 27 年度	平成 28 年度	備考
国・県及び関係団体	10	8	津気象台、中部地方環境事務所、三重県地球温暖化対策課、三重県廃棄物リサイクル課、三重県みどり共生課ほか
市町及び関連団体	12	12	津市、四日市市、四日市公害と環境未来館、四日市自然保護推進委員会、鈴鹿市、亀山市、亀山市総合環境研究センター、松阪市、伊勢市環境会議ほか
団体（社団、組合等）	8	8	ICETT、JAF、コープ三重、三重県産業廃棄物協会、三重県水質分析センター、三重県環境保全事業団ほか
大学・高校	4	5	三重大環境 ISO、四日市大学エネ研、四日市農芸、三重中・高等学校ほか
NPO 等	14	14	中勢協議会、環境サークル三重、鈴鹿・石榑地区推進委員会ほか
企 業	27	29	
計	75	76	

② 環境トーク

井村屋グループ株式会社の浅田剛夫代表取締役会長を迎えて、朴恵淑三重県地球温暖化防止活動推進センター長が、「もったいない、企業活動と地球温暖化防止」について環境トークを行う。

③ ポスター・チラシの配布先

三重県・県内市町及び関係個所に配布するとともに、昨年と同様、会場周辺の津市・鈴鹿市全域の小学校全児童（約 27,500 人）に配布することとした。

④ 環境フェアの広報

- ・ みえ環境フェア 2016 の開催要領を三重県庁記者クラブに提供し、当日の取材を要請する。
- ・ 三重県下でラジオとしては最も聴取率の高い FM 三重放送で、「みえ環境フェア 2016」に関する朴温暖化センター長のトーク番組を企画し、放送することとする。
- ・ 津地域ミニコミ誌「つうぴーす」（人口カバー率約 80%）11 月下旬号に開催案内を掲載し、周知に努める。

⑤ カーボンオフセット

昨年同様に会場の照明・暖房、ポスター・チラシの印刷等環境フェア開催に伴い排出されるCO₂、出展者の移動、来場者の使用車両から排出されるCO₂についてもオフセットを行うこととした。クレジットは「三重県産クレジット（国内 or J クレジット）」を利用する。

（詳細は資料 1）

⑥ ごみの分別処理

会場で発生するごみの分別処理については、協賛の申し出のあった一般社団法人三重県産業廃棄物協会の協力を得て、排出されるごみの適正処理・処分を行う。

⑦ 展示車両

今年は、移動式水素ステーション、燃料電池車（FCV）のトヨタ「MIRAI」、ホンダ「CLARITY FUEL CELL」、天然ガス自動車、HV 車を展示することとした。

⑧ 会場での食事

今年も、「相可高校調理クラブ」の弁当 200 食に加え、来場者・出展者から要望の多かった軽食（おにぎり、サンドイッチ各 200 食）を販売することとした。

⑨ もったいない市

食品ロス削減の取り組みの一環として規格外品等の廉価販売を行うこととした。

2 推進員を対象とした研修会

推進員を対象とした研修会を下記の通り実施した。

開催日時：平成 28 年 9 月 12 日（月）

テーマ：省エネ診断のグレードアップ

講 師：有限会社ひのでやエコライフ研究所 鈴木 靖文氏

出席者：推進員 31 名

概 要：「ゼロ・エネルギー時代に向けた役割」と題して①最近の異常気象、②政策の動向、③新しい省エネのネタの講義と④推進員の大切な役割として対面で伝える大切さの実習を行った。

3 アンケートの実施

全国ネットの「COOL CHOICE（クールチョイス）に関するアンケート」と「COOL CHOICE（クールチョイス）への賛同のお願い」、全国統一の「家庭の省エネアンケート」をイベント会場等で実施している。

省エネアンケートは 2 枚 1 組として、1 枚は会場で回答してもらい、もう一枚は自宅に持ち帰って、いつでも省エネ効果の確認ができるよう工夫をしている。

4 今後の計画

平成 28 年 12 月 11 日に、みえ環境フェア 2016 を開催し、省エネ生活の啓発を行うとともに、平成 29 年 1 月に推進員研修会を開催する計画である。

④ 第3回連絡調整会議概要

第3回三重県地球温暖化防止活動連絡調整会議の概要

1 地域における地球温暖化防止活動促進事業

「平成28年度二酸化炭素排出抑制事業 地域における地球温暖化防止価値道促進事業 報告書（暫定）」により、平成28年度の事業内容を説明。

2 イベント・出前講座等でのマスコットキャラクターの使用について

市町キャラクターを啓発グッズに使用することについて、市町の担当者にキャラクターシー
ル見本を持ち帰って回答してもらうよう依頼した。

3 その他

環境省が推奨する COOL CHOICE（=賢い選択）賛同用紙の記載のお願い



写真 第3回連絡調整会議の状況（平成29年2月6日）

2 「みえ環境フェア2016」の開催

(1) フェアの概要

- ① 開催日時 平成28年12月11日(日曜日)10時から15時(入場無料)
- ② 場所 メッセウイング・みえ(津市北河路町19-1)
- ③ 主催 三重県地球温暖化防止活動推進センター(一般財団法人三重県環境保全事業団)
共催 三重県
後援 中部地方環境事務所、中部経済産業局
協賛 一般社団法人三重県産業廃棄物協会
- ④ 内容

【ステージイベント】

- ・ 「地球温暖化防止啓発ポスターコンクール」表彰式(10時20分から10時50分)
- ・ 「もったいない名人家族クイズ」(11時から11時50分)
- ・ 環境トーク(13時00分から14時00分)
浅田剛夫(井村屋グループ株式会社代表取締役会長)×朴恵淑(三重県センター長)
テーマ: もったいない、企業活動と地球温暖化防止

【展示ゾーン】

- ・ 最新のエコカーの展示
- ・ 風力発電システム模型、省エネ機器等の展示
- ・ 活動パネル、県・市町の取組紹介パネルの展示
- ・ 気象観測装置及び気象実験、壁新聞の展示、活動DVDの上映
- ・ 生ごみ堆肥化の仕組み等の展示 等

【体験ゾーン】

自転車発電、クイズ、ぬりえ、ミニカーレース、プラネタリウム、丸太切り、JAFエコカードの作成、エコ安全ドライブシミュレーターを使用したエコドライブ体験
風力発電他種々の発電体験 等

【工作ゾーン】

木の実等の自然の素材・リサイクル素材を使った工作、間伐材工作、アクリルたわし作り等

【販売】

食品ロス削減の取り組みの一環として、出展企業8社による「もったいない市」で規格外品等を廉価で販売した。

「相可高校調理クラブ」の特製弁当等を販売するほか、四日市農芸高校による農産品及び加工品の販売を行った。

【その他】

津駅西口と会場のメッセウイングみえの間で無料のシャトルバスを運行した。

みえ環境フェア2016

かん ぞう

平成 28年 **12月11日** 10:00 ~ 15:00

会場 **メッセウイング・みえ**
津市北河路町19-1 TEL059-223-4655

三重の未来のために
いま動こう

二酸化炭素を出さないイベント



環境フェアから出るCO₂を、他の場所でのCO₂削減・吸収量で埋め合わせ(カーボンオフセット)しています。

COOL CHOICE

(=賢い選択)

高校等による農産物及び弁当等の販売
四日市農芸高校 相可高校調理クラブ





井村屋グループ株式会社 代表取締役会長
浅田 剛夫



三重県地球温暖化防止活動推進センター長
朴 恵淑

ステージイベント

もったいない、企業活動と地球温暖化防止 13:00~14:00

井村屋グループ株式会社 代表取締役会長 浅田 剛夫 × 朴 恵淑

環境トーク

「三重県地球温暖化防止啓発ポスターコンクール」表彰式 10:20~

燃料電池車 移動式水素ステーションの展示



食品ロス削減の取り組みの一環として、規格外品等の廉価販売
もったいない市

もったいない名人 家族クイズ(小学生以下対象) 11:00~



★津駅西口からシャトルバス運行(無料)
★車でお越しの際は、エコドライブを併せて。

臨時シャトルバス運行表(近鉄・JR) 津駅西口から

津駅西口発	メッセ発
9:10	
10:00	10:30
10:50	11:20
11:40	
	13:00
13:20	13:50
14:10	14:40
	15:20

主催：三重県地球温暖化防止活動推進センター(一般財団法人三重県環境保全事業団)
共催：三重県 後援：中部地方環境事務所 中部経済産業局
協賛：一般社団法人三重県産業廃棄物協会

問い合わせ先 三重県地球温暖化防止活動推進センター事務局
住所：三重県津市河芸町上野3258番地
TEL 059-245-7517 FAX 059-245-7518
メール：mccca@mcc.or.jp

⑥ 環境フェア出展団体・企業等と出展内容

みえ環境フェア2016 出展内容

番号	団体	出展内容	番号	団体	出展内容
1	トヨタカーラ三重株式会社 津店	カラーフィルターHV車の展示、展示に伴う提示物、当社独自のポケットティッシュの配布	34	三重執業株式会社	廃油回収からバイオディーゼルの製造ができる工程をパネル紹介、タッチパネルにてクイズ
2	三重三等自動車販売株式会社	電気自動車からの家庭用100V電源供給デモ	35	亀山市総合環境研究センター	活動紹介パネルの展示
3	東邦ガス株式会社	天然ガス自動車及びパネル展示	36	地球温暖化防止活動中勢協議会	平成28年度の活動内容についての提示物を展示、家庭での省エネについて展示
4	三重県環境生活部エネルギー政策4CT活用課 鈴鹿市産業振興部政策課 みえ水素ステーション合同会社 共同出展	水素社会の実現をめざして燃料電池自動車・移動式水素ステーションの展示、三重県にゆかりのある「MIRA」の展示、鈴鹿市によるホンダ「CLARITY FUEL CELL」の展示、みえ水素ステーション合同会社による「移動式水素ステーション」の展示(11時30分まで)	37	東京海上日動火災保険株式会社	マングローブ植林活動等に関するパネル展示 エコ輪投げ(お子様向け)
5	三重県環境生活部廃棄物対策課 廃棄物リサイクル課 廃棄物監視・指導課 廃棄物適正処理プロジェクトチーム	ゼロ吉君による啓発と ゼロ吉オリジナルバッグ作り パネルの展示 産業廃棄物の不適正処理によって生じた生活環境保全上の支障を除去する取組みを紹介	38	NPOとばりサイクルネットワーク	活動内容のパネル展示
6	シャープ株式会社 亀山工場・三重工場	クリスマスリース作り パネルの展示	39	ウミガメネットワーク	ウミガメ紙芝居(定期的に上演) パネル、標本、ウミガメの骨等の展示
7	中部電力株式会社 三重支店	環境活動パネルの展示 手回し発電体験	40	イオン鈴鹿 イオンチアーズクラブ	かべ新聞の展示 活動内容の展示
8	株式会社東芝 ストレージ&デバイス ソリューション 四日市工場	環境負荷低減活動紹介、メモリ製品の活用体験 アンケート、工場紹介DVDの放映	41	「竹の都・明和」農業生産研究会	竹の都活動報告の展示
9	津友電機株式会社 津製作所 津エコクラブ	松ぼっくりにデコレーションしてミニクリスマスツリーを作る	42	太陽光発電保全推進協議会	太陽光発電の万相談とメンテナンスの説明 温暖化防止に貢献する再生可能エネルギーのPR
10	損害保険ジャパン日本興亜株式会社	エコ安全ドライブシミュレーターを使用したエコ安全 ドライブ体験	43	万緑株式会社	リサイクル瓦チップの商品説明&展示 リサイクル瓦製品材の商品説明&展示
11	一般社団法人 日本自動車連盟 三重支部	JAFエコカードの作成 (顔写真を撮ってその場でカードを発行)	44	アイランドシー合同会社	振器展示、実演(家庭用生ごみ処理機、インクカートリッジ不使用プリンター、ウイルス感染防止噴霧器)
12	電気自動車等を活用した 伊勢市低炭素社会創造協議会	電気自動車やパネルの展示と給電デモ(電気自動車 の電気で作るEVポップコーンの無料配布)	45	大和ハウス工業株式会社 三重支店	省エネ設備の展示 住宅の省エネ化・環境への取り組みの展示
13	環境省 中部地方環境事務所	地球温暖化対策関係のパネルの展示 クールジョイスの賛同者募集	46	清水ハウス株式会社	パネルの展示
14	気象庁 津地方気象台	雨量計の展示及び気象実験 防災啓発ビデオの上映、地球温暖化パネルの展示	47	一般社団法人 四日市大学エネルギー環境教育研究会	ペットボトルで水族館を作ろう
15	三重県環境生活部地球温暖化対策課	地球温暖化に関するクイズ	48	梅村学園 三重中学校・高等学校 科学技術部	世界に一つだけの貴のキーホルダーを作ろう! 活動について展示
16	三重交通株式会社	環境への取り組みの展示(電気バス、ハイブリッドバス、IC カード等)、ICカードミニカー・ポンプセット商品の販売	49	四日市市公営と環境未来館	PRパネルの展示および工作 「まっぼくく」ミニクリスマスツリーを作ろう
17	三重県環境生活部大気・水環境課	大気・水環境を守ろう 身近な環境問題について展示等を通じて学習	50	四日市市自然保護推進委員会	オオカミの観察から見てきたこと(展示)
18	鈴鹿市環境部環境政策課	地球温暖化防止や環境保全に関するパネルの展示 エコ工作	51	株式会社松阪協同ファーム	緑化活動報告、環境浄化植物の取り入れ、環境フェスタ活動 紹介、ガーデンボランティアによる花苗配布活動紹介
19	三重県森林水産部みどり共生推進課 (みどり推進班) 三重県森林水産部みどり共生推進課 (野生生物班)	森林のはたらきと森林を支える社会について学び ながら三重県の木を使った箸を作る いきものをテーマにしたものしりクイズにチャレンジ! (参加賞はかわいいい賞状をプレゼント!)	52	特定非営利活動法人 三重エコライフ協会	ベルファームの竹林整備と竹炭焼・竹や竹炭の活用展示 リユース、リサイクル活動の展示、いし竹のマイ箸作り
20	公益財団法人国際環境技術移転センター (ICETT・アイセット)	地球の環境を守るアイセット 一環境クイズにこたえてエコグッズをもらおう	53	一般財団法人 三重県水質検査センター	浄化槽のモデル展示と浄化槽の維持管理に関する 展示、微生物の観察
21	株式会社百五銀行	環境保全に関する取り組みの紹介 (環境に配慮したサービスの展示、植樹活動の紹介)	54	NPO法人生ごみリサイクル思考の会	ごみ減量のPRポスターの展示 完熟堆肥の販売
22	マックスバリュ中部株式会社	環境・社会貢献活動のパネル展示 (フードバンクへの取り組み等)	55	一般社団法人 三重県産業廃棄物協会	木の葉とリサイクル製品の工作、廃棄物の分別指導 と処理、廃棄物のリサイクルの流れるパネル展示
23	伊勢市環境会館	洗剤を使わずに汚れを落とすアクリルたわし作り体験 活動紹介の写真展示	56	三重県地球温暖化防止活動推進センター	家庭の省エネ診断、温暖化防止啓発パネル展示
24	津市環境部環境政策課	パネルの展示 工作(折り紙)	57	一般財団法人三重県環境保全事業団	プラ板を使ったアクセサリー作り、臭気基準液を 使った臭気テスト、三重の動植物写真展示
25	生活協同組合コープみえ	環境活動の展示 間伐材を使ってマイ箸作り、牛乳パックではがき作り	58	坂下星見の会	「星たまご」プラネタリウム
26	松阪市環境・エネルギー政策推進課	四日市市クリーンセンターを含む四日市市の環境 に関する取り組みの紹介	59	三重県環境学習情報センター	地球温暖化防止啓発ポスターコンクール入賞作 品展示
27	四日市市環境部	温排水管及び貯湯タンクの発泡スチロールによる断 熱化で省エネ実現についてパネルの展示	60	株式会社シーテック 再生可能エネルギー 事業本部 風力発電部 三重発電管理所	風力発電車模型、風力発電・太陽光発電紹介 パネル、風車ジオラマの展示
28	日本ケミカル工業株式会社	ダンボールコンポジットの紹介等	61	井村屋グループ株式会社	規格外おすきを使ってマラカスを作ろう! (数量限定)
29	四日市市ダンボールコンポジットの会	ダンボールコンポジットの紹介等	62	四日市市少年自然の家	間伐材を利用した工作体験
30	伊勢寺地域環境保全向上活動をする会	平成27年度の活動写真の展示、活動DVDの上映 活動状況のパンフレット及び会報の配布	63	亀山市環境産業部環境保全室	丸太切り体験、木の炭工作 温暖化防止の啓発
31	伊勢広域環境組合 リサイクルプラザ	新聞紙のカラ一部分を使ったコサージュ作り	64	鈴鹿・石博地区推進委員会	天然素材及びリサイクル素材を使用した工作 他
32	三重県立四日市農業高等学校	学校紹介・環境教育活動のパネル展示 生徒実習作品等の展示	65	環境学習サークルみえ	人力自転車発電体験
33	一般社団法人 M-EMS認証機構、M-EMS環境倶楽部	ミームの紹介(規格、費用等)、認証取得事業者 の環境活動の取り組みをパネルで紹介	66	三重大学環境SO学生委員会	毛糸を材料に洗剤を必要としないアクリルたわしの 製作、アクリルたわしを体験して効果を実感する
			67	鈴鹿市生活学校	リフォームリサイクル品の展示、活動内容のパネル展示、 ペットボトルキャップでブローチ作り、廃油石鹸の配布
			68	NPO連合 グリーンカレッジみえ	風力、太陽光で充電したミニカーのレース 家庭での温暖化防止対策の講和
			69	三重県立四日市農業高等学校	生徒実習農作物と加工品の販売
			70	相可高校調理クラブ	エコ弁当・おにぎり・サンドイッチの販売

食品ロス削減の取り組みの一環として、
規格外品等の廉価販売 **売切御免 もったいない市**

A 株式会社大里肉センター

B 井村屋グループ株式会社

C 株式会社おやつカンパニー

D 株式会社竹屋

E 株式会社津松菱

F あられ処 たばね庵

G 株式会社マスマ

H マルフク食品株式会社



【放送媒体による告知放送等】

① FM三重による告知放送

- ・ FM三重による告知放送は、11/25（水）、12/2（水）の2回、最も聴取率の高い17時55分過ぎから約3分間、三重県センター長である朴三重大学教授へのインタビュー形式で行った、
- ・ フェア開催前の12月4日の午後2時半過ぎから約4分間、FM三重パーソナリティと三重県センター長である朴三重大学教授による対談形式の番組が放送された。

② ケーブルテレビによる告知放送

津地域のケーブルテレビにより環境フェアの告知放送（文字放送）が行われた。

【開催地周辺小学校等への開催チラシ等の配布】（資料1、資料2）

環境フェアの開催チラシを、会場周辺の津市及び鈴鹿市全域の小学校全児童（約28,000人）に配布すると共に、チラシ、ポスターを津市及び鈴鹿市の市役所、出張所、公民館図書館等に配布した。

③ 開催結果の報道

環境フェア2016の開催日は、三重テレビの取材があり同日ニュースで報道された。

④ みえ環境フェア2016に関連した新聞記事



朝日新聞朝刊（平成28年12月16日）

(3) フェア開催により排出されるCO₂のオフセット

みえ環境フェアでは、環境フェア開催により排出されるCO₂のオフセットを行っている。

本年度は、中部経済産業局により制定された「中部産CO₂クレジット」を用いて19t-CO₂のカーボンオフセットを行った。また、マスコミ等への周知や会場での掲示で周知を図った。

カーボンオフセットの内容は表-3のとおりである。

表-3 カーボンオフセットの内容

内容	CO ₂ 算出量
会場の電力の使用	1,690kg-CO ₂
出展者の車両使用	4,810 kg-CO ₂
来場者の車両・シャトルバス	12,090 kg-CO ₂
ポスター・チラシの印刷	100kg-CO ₂
その他	20kg-CO ₂
計	18,7100 kg-CO ₂ ≒19 t-CO ₂

Carbon Offset Certificate

カーボンオフセット証書

(株) ウェイストボックスは、下記の通りカーボンオフセットが完了したことを証します。

発行先	三重県地球温暖化防止活動推進センター 様
証書発行日	2016年10月3日
オフセット対象	みえ環境フェア2016の開催にともなうCO ₂ 排出量 (会場でのエネルギー使用、来場者・出展者の移動・ 広報物の製造等) 開催日：2016年12月11日
オフセット量	19t-CO ₂
クレジット種別	国内クレジット
プロジェクト名	金属製品製造工場におけるインバーター制御装置・ 台数制御盤の導入及び受変電設備の更新によるCO ₂ 削減事業 KC-300-000-997-000-266~KC-300-000-997-000-284
シリアル番号	
償却完了日	2016年10月3日

本証書は、株式会社ウェイストボックスが上記の通りカーボンオフセットが完了したことを証するものです。
ウェイストボックスはカーボン・オフセットプラットフォームに参加し、オフセット取引を通じて定期的に第三者
機関の審査を受けることで信頼性・実証性を高めています。譲渡者が500円を超える各種ガイドラインに則ってカーボン・オフ
セット業務を実施しています。

世界の温室効果ガスの排出量は年々増加しており、今後も増大することが予想されています。こうした温室効果ガスの
影響を最小限に抑えるためには、早急に対策全体の温室効果ガス削減量を大幅に削減する必要があります。自主的に
温室効果ガス排出量を削減する努力を行うとともに、カーボン・オフセットに取り組むことで、より効果的な地球温暖化
対策が可能となります。



株式会社ウェイストボックス 愛知県名古屋市中区23-18-1 7F
wastebox, Inc. 7F 3-18-1 Sakae Naka-ku, Nagoya-city, Aichi, Japan
<http://www.wastebox.net>

この証書はFSC森林認証証書により制作されています。当社は国内の持続可能な森林経営を応援しています。

(4) 開催結果

「みえ環境フェア 2016」は、好天にも恵まれ約 4,500 人の来場者で盛況のうちに開催することができた。



写真 センター長による開会挨拶



写真 三重県環境生活部長の挨拶



写真 ポスターコンクール表彰式



写真 ブースの状況①



写真 ブースの状況②



写真 ブースの状況③